ホルスト「木星」の主題による エスペラントの歌



前書き antaŭparolo

ホルストの木星に、木星とはかかわりのない、詩をつけてみました。 愛の歌と、鹿児島観光の歌です。

mi aldonis kelkajn tute aliajn versojn al melodio de 'jupitero' de 'planedoj' de G. HOLST. ili estas amkanto, kaj kanto de turismo al Kagosximo.

あなたが好きです

五十年前に言ったよね、 わたしが好きですと。 甘やかな蜜のごとき ともに歩く人生がはじまった。

- 息子の死に至る病に、
- 娘の心の悶えに、
われら二人は涙を流して祈ったね、
どうか天が助けてくださるようにと。

いまそれは単色の光景となり 細胞に刻み込まれている。 これから二人は無限に明るい道、 未来をさして華麗に進みゆこう。



Mi amas vin

muz. Gustav Holst



南へおいでよ

新幹線で自然豊かな わたしのところにきませんか 心地よい砂風呂と グラスにつがれた美酒が待っています

それからもっと南へ下りましょう そこでイルカが声をかけます 人間の友だちが青海原で かけくらべをするのです

島にあがって焼酎をのみ 蛇皮線の歌声を楽しみましょう この喜びあふれる砂浜に満足し きっとさらなる人生を夢みることでしょう



Venu Suden

muz. Gustav Holst



- * ŝinkanseno: superekspresa trajno
- * ĝamiseno: tri-korda muzikinstrumento